



今年もリサイクルフェアを開催します！

リサイクルフェアは、図書館で不用になった本や雑誌を、市民の皆様にもう一度利用していただこうと企画されたものです。少し古いかもしれませんが、ずっと探していた本にめぐり合えるかもしれませんよ！？

今年もたくさんのお本とともに、皆様のお越しをお待ちしております。

☆日 時：10月31日（水）

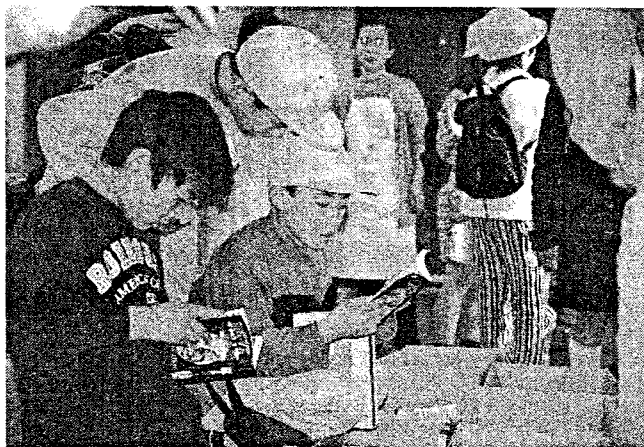
午前10時～午後3時

☆場 所：平塚市中央図書館

☆対 象：平塚市民

☆その他：

- ・午前9時30分から整理券を配布します。
- ・午前10時より、整理券の番号順に入場していただきます。
また、事故や混乱を防ぐため、入場制限をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・冊数は1人20冊まで（雑誌については冊数の制限はありません。）
- ・今年度は児童書のリサイクルはありません。



★ご注意：

- ・図書館ではお持ち帰り用の袋類は用意していませんので、各自ご持参ください。
- ・駐車場は博物館、美術館以外に浅間緑地も使えます。
(ただし、午後3時には閉鎖します。)

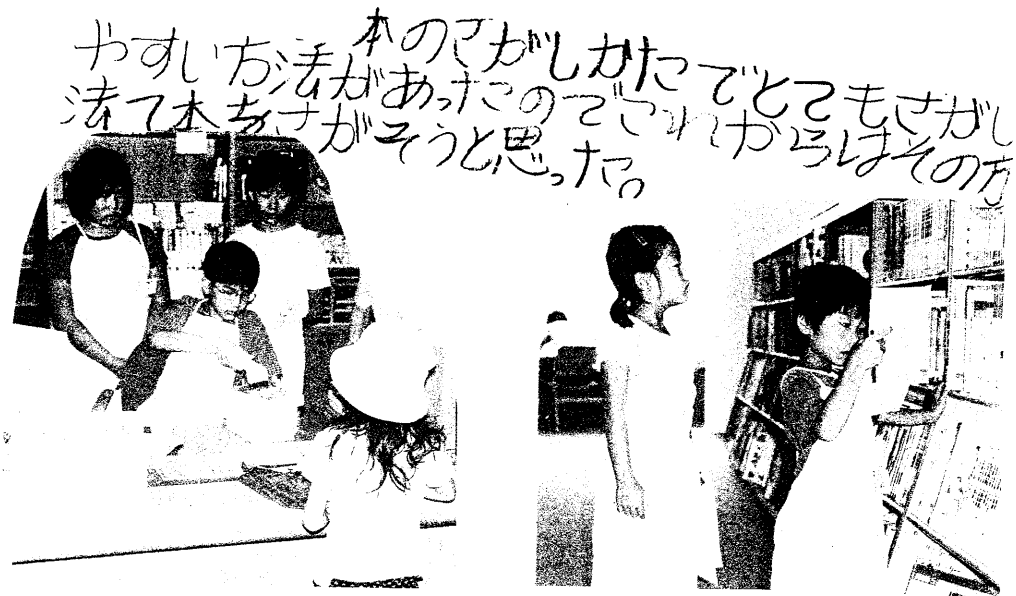
※ 詳しいことは、下記の市内各図書館までお問い合わせください。

中央図書館	〒254-0041	平塚市浅間町12-41	TEL0463-31-0415
北図書館	〒254-0013	平塚市田村5155-1	TEL0463-53-1232
西図書館	〒254-0911	平塚市山下760-3	TEL0463-36-3555
南図書館	〒254-0813	平塚市袖ヶ浜20-1	TEL0463-21-3080



すごしたのしかた。
またやりたい。

おイホサの日は何曜^ヨ日ですか？ たのしかたの？ またいつかや
らして下さい。おねがいします。



本のさがしかたでとてもさがし
やすい方法があったのでこれからその方
法で本さがそう思った。

おもしろが、たことはいこに
ビブのからすのパンやさんが
あったこととカウンターを

楽しかった！ 夏の1日

かうんだあをもつとやりたし。

やったことです。
つぎはなかつたことはありきせんづした。



さいしょカウンターをやってくたさいていわれて
心の中でえーやだよーともったけど
やっているうちにたのしくなったよ。

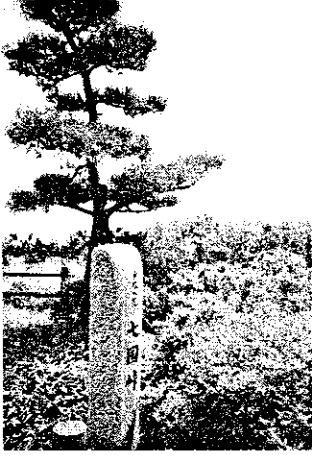


たいけんだった、よんでねださい！
他の小学校の子ども
いろいろができて

よかったです。
おもしろがたけど一日とはかゝる負^マたのに洋服して
いながら。

長兵衛茶屋と露木卯三郎

平塚市土屋に七国峠がある。この地より七つの国、すなわち甲斐、駿河、伊豆、相模、安房、上総、武蔵の国が一望できる所であるので、この名がついたと言われている。明治の頃まで、この峠は、大磯・二宮から平塚・秦野・伊勢原へと通じる脇往還であり、ここを通る人は多かった。そして、この峠を通る人達は、地元土屋村矢沢の石黒長兵衛が設けた休息所を長兵衛茶屋と呼び、名物の甘酒を飲み、疲れをいやした。また、この峠の所は、平坦地で数個の井戸などもあって、昔ささやかながらも集落があった模様である。

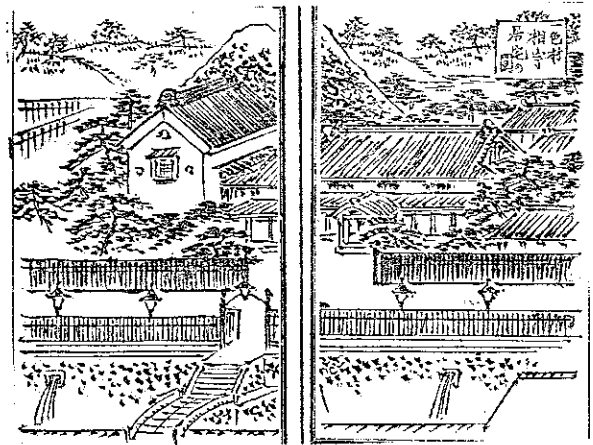


長兵衛茶屋跡

さて、明治17年（1884）5月15日、大磯の宮代旅館において一色村の高利貸し露木卯三郎および番頭の露木幸助が負債農民8名により殺害された。これが「露木事件」とよばれ、6年前の明治11年（1878）10月26日の「真土事件」の再来として世間を騒がした。負債農民たちは、この事件に先だって数回謀議を重ね、その場所がこの七国峠の長兵衛茶屋であった。

露木卯三郎は、天保14年（1843）12月2

0日、一色村（現、二宮町一色）にて父・兵右衛門、母・いよの長男として誕生。少年期より賭博・喧嘩にあけくれた。このため、文久3年（1863）4月、家は弟の友吉につがせ、卯三郎は大磯宿北組問屋・鈴木定右衛門（升屋定右衛門）の養子に出され、大磯宿宮代屋・川崎伊三郎の娘・由畿（雪）と結婚し遊女屋を経営したが失敗し、元治元年（1864）江戸に出る。卯三郎20歳の時であった。その後慶応4年（1868）正月、江戸亀島橋に米屋・相模屋を開業し、商売は順調に推移し米相場にも手を出し、これが大いに当たり相卯（略称）が米を買うと相場が変動したと言われた。この相場でもうけた金を基に今度は金貸し業も始めた。明治8年（1875）2月東京の家を引き払い故郷の一色村に敷地3000坪に総檜造りの寝殿風大邸宅をつくり、翌年より高利貸しに専念したが、これが軌道に乗ったのは明治14年（1881）以降になってからであった。



相宇居宅之図

一方、当時の日本経済は、明治10年（1877）の西南戦争以来急激なインフレ経済であり、これを抑制するため大蔵卿・松方正義は超均衡予算をくみデフレ政策を実施した。いわゆる「松方財政」である。このため農産物価格は下落し、逆に貨幣価値は上昇しさらに増税とあって農村は不景気になり、農民はますます貧困化していった。このため窮

場をしのごため、あえて高利貸しを利用せざるをえなくなった。そして借金返済が不能になり抵当は没収され、負債農民は債主に対して負債の延納、利子減免を威嚇的に要求した。

この農民騒擾が県下西部でこの時期8件発生した。このうち債主が卯三郎の場合は、次の4件であった。子易村騒擾（明治16年10月14日）、土屋村騒擾（明治17年3月16日）、吉岡村騒擾（同年4月7日）、露木事件。このうち、土屋村騒擾は、大住郡赤田村ほか数か村、足柄上郡井ノ口村ほか数か村など農民100人が、土屋村七国峠の長兵衛茶屋に集合して、露木が「予てより非常の高利を貪り借主を責むること残忍なりければ、いざや竹槍蒔旗を打たてて卯三郎の家へ攻めこみ、家族残らずみな殺しにして腹癒せん」（「東京横浜毎日新聞」明治17年5月18日）と協議していたものであるが、小田原警察署から巡査が来て解散を命じられた。

こうしてついに明治17年5月15日農民8名（大住郡上吉沢村農民2名、淘綾郡生沢村農民2名、同郡黒岩村農民1名、足柄上郡井ノ口村農民1名、同郡赤田村農民1名、同郡境村農民1名）によって、卯三郎と番頭・幸助（養子）は、妻の実家である大磯の旅館宮代屋に止宿中に殺害された。同年10月18日、横浜重罪裁判所はこの8名に対して死刑を宣告した。被告全員は、これを不服として上告したが翌年6月27日大審院は、これを棄却し、被告8名全員の死刑が確定した。明治30年（1897）国府村中丸の西長院境内に8名の供養塔が建立された。

なお、この露木事件を題材とした小説として、杉村苑子の短篇小説「逢魔の辻」がある。この作品は、砂川健蔵という元幕臣で彰義隊員の旅廻り絵師が、偶然二宮をとおりかかり過去に自分を斬りつけ、妹・真砂を連れ去った憎き幸助を見つけるとともに、妹が幸助の妻になっている事実を知りさらに驚く。健蔵は、農民たちの仲間に入り、露木父子殺害計画に加担しようとするが、一方で妹をたすけ出すことも考える。こうして事件は決行されるが、農民と露木との対立という単純な図式で事件が起きた

のではなく、農民をあおり、たきつけた黒幕の存在があったことを、健蔵は最後に知ることになる。この黒幕とは、長兵衛茶屋の主人である石黒長兵衛であった。

この小説は、「オール読物」1968年7月号に発表され、その後1989年7月刊の「埠頭の風」（講談社）に収録、後に文庫化された。また、1998年刊の「杉本苑子全集」第21巻（中央公論社）にも収録されている。中央図書館と北図書館で所蔵していますので、この機会にお読みいただければ幸いです。

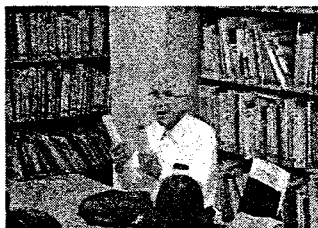


<参考文献>

- ・大磯の今昔7 鈴木昇／著 1996年
- ・神奈川県史 通史編4 神奈川県 1980年
- ・二宮の昔ばなし 二宮町教育委員会 1981年
- ・二宮町郷土誌 二宮町教育委員会 1972年
- ・二宮町近代史話 二宮町教育委員会 1985年
- ・神奈川県史研究 14
神奈川県企画調査部県史編集室 1972年
「明治17年の相模国淘綾郡一色騒動覚え書」
安藤 健二／著
- ・神奈川県史研究 27
神奈川県企画調査部県史編集室 1975年
「明治十年代・神奈川県下の土地金融活動について」
土井 浩／著
- ・かながわ風土記 第14号
丸井図書出版 1978年
「神奈川の事件史5 武相困民党前後」
真木 蕃／著
- ・神奈川風土記 第52号
丸井図書出版 1981年
「神奈川自由民権の旅8 露木卯三郎殺害事件」
土井 浩／著

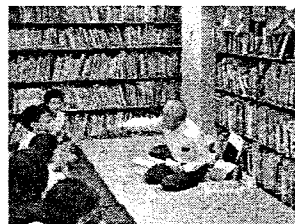
図書館にこの人あり

「おはなしのおじいちゃん 津田和敏さん」



津田さんは横須賀市生まれで、平塚市・小田原市の小学校長、横浜市の私立の幼稚園長を歴任されました。また、長年にわたり平塚市童謡の会会長をされ、今も童謡の普及に努められています。『子どもにとっておはなしも童謡も心の栄養・ミルクである』と言われる津田さんの言葉は心を打ちます。

年はとっても子どもの世界に遊んでいる…それが一番の生きがいと、平成3年から中央図書館でのおはなし会、平成7年から西図書館でのこども玉手箱にボランティアとしてお手伝いいただいています。そして今も「おはなしのおじいちゃん」と親しまれ、子どもに囲まれながら元気におはなしをされています。



書庫探訪 第24回

「ウルトラマン青春期—フジ隊員の929日」
桜井 浩子／著
小学館



いまウルトラマンが熱い！
小さい子どもばかりかその
お父さんも夢中に。お父さん
世代が子どもだった頃の
ヒロイン桜井浩子の17歳
から20歳までの青春がつ
づられている。

(中央図書館所蔵)



とくまかえQ&A

Q:利用者端末で探した本がどこにあるか分からないのですが…。

A: 図書館の本のある場所は、請求記号によって位置がわかるようになっていますが、書庫にあたり、全集や文庫本などのように別の場所に置いてある場合もあります。利用者端末の画面の「印刷」ボタンを押すとレシートが打ち出されますので、分からない場合はご遠慮なく職員までお尋ねください。

○利用統計

個人貸出状況 (平成13年度4月～8月)

区分	中央	北	西	南	BM	合計
入館者数	185,641	75,351	90,059	77,105	—	428,156
貸出点数	221,058	95,278	148,141	153,754	15,604	633,835
登録者数	61,895	12,283	17,453	11,062	6,791	109,484

○資料統計

蔵書数 (平成13年8月末現在)

区分	中央	北	西	南	BM	合計
図書	372,763	115,578	152,572	109,854	81,197	831,964
うち児童書	78,884	46,232	65,848	40,219	36,668	267,851

視聴覚資料 (平成13年8月末現在)

16ミリ映画フィルム	621	ビデオ	20,483
CD	20,301	LD	1,595

編集後記

図書館に異動してきて2年半が経ちました。やっと回りを見わたす余裕もできましたが、まだまだいたらないところが多いことに反省。もっとがんばらねば！(K)

中央図書館 TEL (31) 0415
北図書館 TEL (53) 1232
西図書館 TEL (36) 3555
南図書館 TEL (21) 3080